


事務事業名		漁場環境管理事業			<input type="checkbox"/> 実施計画登載事業	<input type="checkbox"/> 合併建設計画登載事業		
政策体系	政策名	05: 豊かな市民生活を実現する産業の振興			事業期間			
	施策名	19: 地域活力を担う水産業の振興						
	基本事業名	01: 漁業資源の確保と漁場の管理			<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始 昭和49 年度~) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (計画期間) 年度 ~ 年度  全体計画欄の総投入量を記入			
根拠法令								
所属	部課名	農林水産部 水産課			予算科目 会計 款 項 目 事業 01 06 03 02 15			
	係名	振興係	電話	27-3111				
			内線	338				
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述) 漁場環境保全のための基礎資料を得るため、市内海域と漁場環境に大きな影響を与える河川の水質について、夏季と冬期の年2回、調査を実施する。 また、大船渡湾内の漁場環境の改善を目的に設置されている空気揚水筒(マリンリフター)の電気料を支払う。					全体計画(期間限定複数年度のみ)			
					総投入量 (千円)	事業費	国庫支出金	
						財源内訳	都道府県支出金	
							地方債	
							その他	
							一般財源	
						事業費計(A)	0	
					人件費	正規職員従事人数		
						延べ業務時間		
						人件費計(B)	0	
					トータルコスト(A)+(B)		0	

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標		活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
手段(主な活動)		名称	単位
前年度実績(前年度に行った主な活動)		ア 採水調査実施地点数	箇所
・三陸町海域及び河川の水質調査		イ 調査項目数(海域)	項目
・空気揚水筒(マリンリフター)電気料の支払い		ウ 調査項目数(河川)	項目
今年度計画(今年度に計画している主な活動)		対象指標(対象の大きさを表す指標)	
前年度に同じ		名称	単位
対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等		カ 調査海域数(漁港数)	漁港
・市内の沿岸海域漁場及び河川		キ 調査河川数	河川
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		ク 調査海域数	海域
・漁業生産の場として、適正な環境にあるかどうか調査する。		成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	
結果(基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するのか)		名称	単位
・漁業資源の確保のため、漁業生産の場として、適正な環境にあるかどうかの基礎資料を得る。		サ 海域の漁業に適した水質基準適合率	%
		シ 河川の水質基準適合率	%
		ス	

(2) 総事業費・指標等の推移

		年度	17年度(実績)	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(目標)	22年度(目標)
		単位						
投入量	事業費	国庫支出金	千円					
		都道府県支出金	千円	675	600	472	472	472
		地方債	千円					
		その他	千円			900		
		一般財源	千円	3,075	3,101	2,443	3,449	3,304
	事業費計(A)	千円	3,750	3,701	3,815	3,921	3,776	
人件費	正規職員従事人数	人	1	1	1	1	1	
	延べ業務時間	時間	80	80	80	80	80	
	人件費計(B)	千円	320	320	320	320	320	
トータルコスト(A)+(B)		千円	4,070	4,021	4,135	4,241	4,096	
活動指標	ア	箇所	36	36	12	17	17	
	イ	項目	9	9	16	12	12	
	ウ	項目	11	11	13	10	10	
対象指標	カ	漁港	13	13	-	-	-	
	キ	河川	6	6	6	5	5	
	ク	海域	-	-	5	5	5	
成果指標	サ	%	100	100	100	100	100	
	シ	%	100	100	100	100	100	
	ス							

事務事業ID	0591	事務事業名	漁場環境管理事業
--------	------	-------	----------

<b>(3) 事務事業の環境変化・住民意見等</b>	
この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・三陸町海域と流入する河川の水質の基礎データを確保するため、昭和49年度から、三陸町から北里大学水産学部への委託事業として開始された。</li> <li>・大船渡湾内の漁場環境改善に向け、効果が期待できることから、県事業として平成8年度から順次整備されてきたマリソリフターについて、その稼働するためのランニングコストのひとつである電気料を、大船渡市で負担することとなった。</li> </ul>	
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)は、開始時期あるいは後期基本計画策定時と比べてどう変わったのか？	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・水質浄化対策の一つとして、町内の4箇所で漁業集落排水施設(漁村版のミニ公共下水道)の供用を開始(根白、小石浜、砂子浜、千歳)している。</li> <li>・個人住宅等についても、合併浄化槽を設置するところが多くなっている。</li> <li>・公共下水道整備済区域も拡大している。</li> </ul>	
この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・三陸町海域及び河川の水質の状況を把握する唯一の事業であり、今後も継続して実施してほしいと言われている。</li> <li>・大船渡市漁協から、マリソリフターの稼働期間の延長を求められている。</li> <li>・大船渡湾内の水質浄化のために、議会や漁協から今以上の対策を求められている。</li> </ul>	

2 評価の部(SEE) \* 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	政策体系との整合性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある [理由] ↘ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている [理由] ↘ この事務事業の目的は当市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？ ・水産業の振興を図る上でも、海域の環境保全は重要なことであり、水質の把握、浄化対策の推進を図るためにも、当該調査は必要である。
	公共関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある [理由] ↘ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である [理由] ↘ なぜこの事業を当市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？ ・漁場環境の水質を把握し、データを蓄積しておくことは、行政としても重要である。 ・水質浄化のための施設の稼働であり、公共性が高い。
	対象・意図の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある [理由] ↘ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である [理由] ↘ 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？ ・調査地点等について、現状のままで必要なデータが揃うものとなっている。 ・委託料も少しずつ減少してきているので、これ以上の削減は困難である。 ・県との取り決めによるものであり、追加・拡充の余地はない。
有効性 評価	成果の向上余地	<input type="checkbox"/> 向上余地がある [理由] ↘ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない [理由] ↘ 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？ ・必要な項目は調査している。 ・関係機関に報告書を配布し調査結果の周知を図っている。 ・電気料の請求を受けて、その額を支払うのみの事務手続きであることから、今以上の成果向上の余地はない。
	廃止・休止の成果への影響	<input type="checkbox"/> 影響無 [理由] ↘ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 [その内容] ↘ 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？ ・事業を廃止・休止することで、漁場環境の水質の現状を把握できなくなり、漁業生産の場として適当な環境を維持・管理するための対策措置が困難になる。 ・マリソリフターが稼働できないことにより、その分大船渡湾の水質改善の進捗が遅くなる。
	類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある ↘ (具体的な手段, 事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる [理由] ↘ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない [理由] ↘ 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？ ・他に類似の事業がなく、他の事業との統廃合・連携ができない。 <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない [理由] ↘
効率性 評価	事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある [理由] ↘ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない [理由] ↘ 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など) ・事業費(委託料)の削減は、調査項目の削減につながり、漁場環境の実態を把握するのが難しくなる。さらに、調査項目が削減されることで、水質の変遷を追うことができなくなる。 ・電気料金の契約は、必要な稼働をした場合、料金が最も安くなるものとしており、事業費の削減は必要な稼働ができないものとなることから、削減の余地はない。
	人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある [理由] ↘ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない [理由] ↘ やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずにより正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど) ・調査は委託事業として実施しているものであり、業務所要時間等の削減の余地はない。 ・電気料の支払手続きのみの業務であり、所要時間削減の余地はない。
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある [理由] ↘ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である [理由] ↘ 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？ ・行政が実施している事業であり、適正化の余地はない。

### 3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

<p>(1) 1次評価者としての評価結果 (2枚目と整合を図ること)</p> <table border="1"> <tr> <td>目的妥当性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>有効性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>効率性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>公平性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> </table>	目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	<p>(2) 全体総括(振り返り、反省点)</p> <p>漁場環境を管理していく上で、現状把握するための水質調査の実施は必要なものであると考える。昭和49年度から継続している当調査の結果は、三陸町海域の水質の変遷を知ることができる貴重な資料であり、一旦調査を休止すると、その価値が失われてしまうものであることから、事業の継続が望まれる。</p> <p>マリニフターは、大船渡湾内の環境浄化を目的に、県が設置したものである。市の負担としては、人的なものは殆どなく、電気料のみとなっていることから、妥当なものであると考えている。</p>									
目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
<p>(3) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は重複不可)</p> <p><input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統合・連携 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持</p> <p>事業のやり方改善 ( <input type="checkbox"/> 有効性改善 <input type="checkbox"/> 効率性改善 <input type="checkbox"/> 公平性改善 )</p> <p>(上記方向性に対する具体的な内容)</p> <p>今年度同様に継続して事業を実施する。</p>	<p>(4) 改革・改善による期待成果</p> <p>左記(3)の改革改善案を実施した場合に期待できる成果について該当欄に「」を記入する。(廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持			×	低下		×	×
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持			×																		
	低下		×	×																		
<p>(5) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策又は特記事項等</p> <p>特になし。</p>																						

(職名) 原則として施策の主管課長 (氏名)

### 4 事務事業の2次評価結果

2次評価者	水産課	
-------	-----	--

<p>(1) 1次評価結果の客観性と出来具合</p> <p>記述水準(1次評価の記述内容を読んだ段階で選択)</p> <p><input type="checkbox"/> 記述不足でわかりにくい</p> <p><input type="checkbox"/> 一部記述不足のところがある</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 記述は十分なされている</p> <p>評価の客観性水準(2次評価を行った後に総合的に判断して選択)</p> <p><input type="checkbox"/> 客観性を欠いており評価が偏っている(事務事業の問題点、課題が認識されてない)</p> <p><input type="checkbox"/> 一部に客観性を欠いたところがある</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 客観的な評価となっている(事務事業の問題点、課題が認識されている)</p>																						
<p>(2) 2次評価者としての評価結果</p> <table border="1"> <tr> <td>目的妥当性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>有効性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>効率性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>公平性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> </table>	目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	<p>(3) 評価結果の根拠と理由</p> <p>水質調査事業は、必要により調査項目の見直しが必要であるが、継続することが環境の維持を図る意味で重要である。</p>									
目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
<p>(4) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は重複不可)</p> <p><input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統合・連携 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持</p> <p>事業のやり方改善 ( <input type="checkbox"/> 有効性改善 <input type="checkbox"/> 効率性改善 <input type="checkbox"/> 公平性改善 )</p> <p>(上記方向性に対する具体的な内容)</p> <p>現状どおり継続して事業を実施する。</p>	<p>(5) 改革・改善による期待成果</p> <p>左記(4)により期待できる成果について該当欄に「」を記入する。また、1次評価と内容が異なる場合には、1次評価の結果も「」で記入する。(廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持			×	低下		×	×
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持			×																		
	低下		×	×																		

### 5 最終評価結果

<p>(1) 行政経営推進会議等での指摘事項</p>
----------------------------